

11月11日

## 阿武隈川 緊急治水対策プロジェクト 現場説明会

国土交通省東北地方整備局では、東日本台風で特に甚大な被害の発生した阿武隈川、吉田川において「緊急治水対策プロジェクト」を推進しています。

阿武隈川においては、河道掘削、遊水地、堤防整備事業に着手し、また市町村・県・国が連携して、総合的な治水対策を進めています。

このうち、角田出張所管内の阿武隈川下流で行われている「河道掘削」の状況について、報道機関向けの現場説明会を開催しました。説明会では、初めに仙台河川国道事務所長から概要の説明が行われました。その後、2箇所の現場において、実際の作業を見学しながら、角田出張所長による工事の実施方法や状況等についての説明が行われました。

### 河道掘削 (かどうくっさく) とは

川の水が流れる部分を河道と呼びます。河道には通常時に水が流れる**低水路**と、洪水時に水が流れる**高水敷**があります。

今回の河道掘削は、高水敷の一部を掘削して洪水時における水位の低下をはかるものです。



▲あぶたん

あぶくまがわ  
緊急治水対策  
プロジェクト



### ▼河道掘削の現場

洪水を安全に流下させるため、河道内に堆積した土砂を取り除いています。河川の環境に配慮しながら工事を進めています。



丸森町の館矢間地区、角田市の江尻地区の現場を見学しました♪



### ▼ICT建機の活用

建設現場における生産性向上と品質確保、安全性の確保を目的にICT建機が導入されています。タブレット端末とも連動しています。



### ▶掘削した土砂の運搬 堤防の強化等に活用します。



▲あぶたん発見♪  
プロジェクトのステッカーが貼ってあります。